

2009 年の過越の祭り

2009 年4月7日

イスラエル政府

イスラエルはベニヤミン・ネタニヤフ氏の元、新しい政権を発足させました。この重要な時期において彼はこの困難な地位に最もふさわしい人物です。どうか彼のためにお祈り下さい。(1テモテ 2:1-4 箴言 21:1)

外務大臣のアヴィグドル・リーバーマン氏にはぶっきらぼうな態度を取る姿勢があり、すでにある者の感情を害し、ある者を困惑させています。しかし、彼は基本的にアラブ諸国と交渉するという地位にあり、イスラエル側の譲歩のみに留まらず、それは真に互いの譲歩を基本とせねばならないのです。それは理にかなった概念です。

この時期においてリーバーマン氏に対する最も厳しい批判者は、対抗する党の党首であり前外相のツピ・リヴニ氏です。皮肉なことに、彼女に対してネタニヤフ氏による連立政権の外相の地位を提供されましたが、彼女はそれを断りました。

アラブ情勢に関するイスラエル人テレビレポーターの第一人者であるエフード・ヤーリ氏は、リーバーマン氏に対する反応は、実際にはアラブ諸国よりも革新的なイスラエル報道陣が最もひどいと語っています。

過越の祭りとバプテスマ

過越の祭りに関してラビらが語る最も重要な格言は「すべての世代において、各人はあたかも出エジプトを経たかのように自身をみつめなければならない。」これは新しい契約(訳注:新約聖書)の概念に並行するもので、各人はあたかもイエシュア(イエス)の死と復活に参加するかのように自身をみつめなければならないというものです。実際に水に浸すことはイエシュアの死、葬り、そして復活を追体験するという意味があるのです(ローマ 6:4-5)。

なぜ新しい契約は水に浸すことを信仰宣言として選んだのでしょうか。神の目から見て、エジプトから出ることとメシアの復活は一つであり、同じ出来事なのです。両方の出来事は同じ時期に起こりました。

ヨハネ 20:1「さて、週の初めの日に、マグダラのマリヤは、朝早くまだ暗いうちに墓に来た。」
出エジプト 14:27「モーセが手を海の上に差し伸べた時、夜明け前に、海がもとの状態に戻った。」

過越の祭りの3日後、およそ朝5時のまだ薄暗い時、イスラエル人は紅海の水の中を通りました。そのまったく同じ時間、過越の祭りの3日目に、イエシュアは死から復活し墓から出て行きました。

イスラエル人は象徴的に紅海でバプテスマを受けました(1コリント 10:2)。そして、バプテスマを受けたクリスチャンは象徴的にイスラエルの過越に参加しているのです(1コリント 5:7)。紅海の水とバプテスマの水は神によって、並行する経験としてご計画されました。イエシュアの死と復活を通して、各人は自分自身のエジプトからの解放に参加するのです。

終わりの時の過越の祭り

ラビらはまた「最後の贖いは最初の贖いのようなものだ」という格言を持っています。この言葉の意味は、終わりの時のメシアの再臨は出エジプトの物語と同じようになるということを示しています。

ダン・ジャスター著「黙示録:過越の鍵」(英文のみ)で、黙示録と出エジプトとの間に多くの並行があると説明しています。二人の証人(黙示録 11章)はモーセとアロンと並行しています。ファラオは反キリストと並行しています。艱難における災いは出エジプトの災いと並行しています。

イスラエルは10の災いの間、エジプトのゴシェンの地に留まっていた。主は彼らを守られました。神の守りはエジプト人に対して主が聖であることと力を示されました。艱難においてもそうなります。私たちは神の恵みによって守られ、全世界に福音の真実を証するために立つのです。この世界の闇のただ中に「ゴシェンの光」(出エジプト 8:23)が輝くのです。

過越とシオニズム

2000年の離散の後、現代の回復されたイスラエルで過越を祝うことは心躍ります。イスラエルの地に私たちの民が再集結することは、出エジプトそのものよりも偉大な奇跡なのです。

エレミヤ 16:14「(前略)その日にはもはや、『イスラエルの子らをエジプトの国から上らせた主は生きておられる。』とは言わないで、ただ『イスラエルの子らを北の国や、彼らの散らされたすべての地方から上らせた主は生きておられる。』と言うようになる。わたしは彼らの先祖に与えた彼らの土地に彼らを帰らせる。」

一つの計画の中で共に機能する段階を追った啓示や奇跡を私たちは見ることができるなんて、なんという想像を絶する祝福なのでしょう！

過越の祭りの証

現代のイスラエルにおいて過越の祭りを祝う多くの家族にはイエシュアを信じる親戚を持つこととなります。どうか、イエシュアを信じる自分の家族の一員が過越の祭りを守るのを、家族が認める

ことによる聖霊の恵みのためにお祈り下さい。イスラエルの民が過越の小羊をメシアのしるしとして認めるように！世界中のクリスチャンは過越の契約的そして預言的な意味を認めるように！

呪いを逆転させる

2000 年前、私たちの祖先たちはイエシュアを拒絶しこう言って自分たちを呪いました。

マタイ 27:25「その人の血は、私たちや子どもたちの上にかかってもいい。」

この呪いの力を考えてもみてください。エルサレムと神殿は破壊されました。私たちの民は離散に追い立てられ国々で苦しみました。

しかし、イエシュアの血は呪いとして意図されたものではありません。私たちの民によって祝福と宣言される時この血潮の力はどれほど強力なものとなるでしょうか。ローマ 11:15 に同じ質問があります。「彼らの受け入れられることは、死者の中から生き返ることではなくて何でしょう。」離散し破壊したこの同じ力は再集結させ回復させるのです。それは死者からの復活、教会の一致、聖徒らの集結、そして神の御国が地上にうち立てられるのです。

イスラエルにいる私たちメシアニック・ジューは声を合わせて呪いを逆転させるために立ちます。私たちはイエシュアの血潮が悪ではなく善のため私たちやその子らにそそがれることを宣言します。私たちはその血潮がイスラエルの民や全世界の民に祝福をもたらす力を宣言します。どうか私たちと一緒にして下さい。